



DETROIT

INSTITUTE OF ARTS
EXHIBITION

デトロイト美術館展

大西洋を渡ったヨーロッパの名画たち

モネ ルノワール ゴッホ セザンヌ マティス ピカソ

2016.10.7 | 金 | ~ 2017.1.21 | 土 | 上野の森美術館

かつて富の象徴であった、その町が可能にした奇跡のコレクション。
傑作中の傑作が今、海をわたってやってくる。
まさにヨーロッパ近代絵画の「顔」ともいうべき名画が集結。



Photo by Salwan Georges



クロード・モネ
《グラジオラス》
c.1876年 油彩、カンヴァス
City of Detroit Purchase



ピエール・オーギュスト・ルノワール
《産む浴女》
1903-1906年 油彩、カンヴァス
Bequest of Robert H. Tannahill



ポール・セザンヌ
《サント=ヴィクトワール山》
c.1904-1906年 油彩、カンヴァス
Bequest of Robert H. Tannahill



アンリ・マティス
《窓》
1916年 油彩、カンヴァス
City of Detroit Purchase



パブロ・ピカソ
《読書する少女》
1938年 油彩、カンヴァス
Gift of the Josephine F. Ford Estate
©2015-Succession Pablo Picasso-SPDA(JAPAN)

「アメリカに、こんな素晴らしい美術館があるとは知らなかった。」

モネ、ドガ、ルノワール、ゴッホ、ゴーギャン、セザンヌ、マティス、モディリアーニ、ピカソほか、まさに近代ヨーロッパ絵画の「顔」ともいうべき巨匠たちの名画が一堂来日。

1885年に開館して以来、自動車業界の有力者らの資金援助を通じて、世界屈指のコレクションを誇る美術館として成長したデトロイト美術館。ゴッホやマティスの作品をアメリカの公共美術館として初めて購入したのもデトロイト美術館でした。

このデトロイト美術館が存続の危機に陥ったのが、2013年7月のデトロイト市の財政破綻でした。市の深刻な財政難により、収蔵する美術品の売却の危機も取り沙汰されました。しかし、国内外からの資金援助により、美術品は売却されることなく存続しました。危機を乗り越え、今なお美術館のコレクションの中核を成している印象派、ポスト印象派、そして20世紀のフランス、ドイツの数々の傑作の中から選りすぐりの全52点をご紹介します。

上野の森美術館 The Ueno Royal Museum

〒110-0007 東京都台東区上野公園1-2
お問合せ: 上野の森美術館 03-3833-4191
JR上野駅 公園口より徒歩3分 東京メトロ・京成電鉄 上野駅より徒歩5分

展覧会公式HP <http://www.detroit2016.com>

主催: フジテレビジョン / 産経新聞社 / ぴあ / 上野の森美術館
後援: アメリカ大使館 / 外務省
協賛: 日本写真印刷
協力: デルタ航空 / ヤマトロジスティクス
監修: 千足伸行 (成城大学名誉教授 広島県立美術館長)

デトロイト美術館展

検索

